
開講科目名：企業取引法研究 (2単位)

開設年次：1年 2年

開設学部：法学研究科修士課程法学専攻

担当者：川上 博英

《授業の概要》

企業は、利潤を追求して様々な活動を行う。その「様々な活動」の多くは取引である。企業には、個人企業も会社も含まれる。いずれもその取引の多くは企業取引に特有な法規の適用を受けることになる。商法は、総則部分は個人商人に関する規定となり、商行為部分は企業取引に特有な生活事実に基づいて商行為に関する規定を置いている。講義の前半では、商行為の概念の理解のために、商法の総則の規定の解説を行う。後半では、商取引に関する規定について民法の債権の部分の規定との相違点に注目しながら、判例及び近時の法改正の動向なども踏まえて解説する。

講義の内容

1. 企業取引とその主体（商人）
2. 商人資格と営業能力
3. 営業の表示（商号）
4. 営業の譲渡
5. 営業の補助者（1）（商業使用人）
6. 営業の補助者（2）（代理商）
7. 企業取引の特色（商行為の意義・特色・種類）
8. 企業取引の特則（1）（商行為の通則）
9. 企業取引の特則（2）（商行為の通則）
10. 企業取引の特則（3）（商行為の通則）
11. 企業取引の特則（4）（商事売買）
12. 各種の取引（1）（交互計算）
13. 各種の取引（2）（匿名組合）
14. 各種の取引（3）（仲立営業）
15. 各種の取引（4）（問屋営業）

《テキスト》

適宜プリントを配布する

《参考書》

企業取引法：商法〔商行為法〕等（企業法要綱） 福原 紀彦 著

企業取引法の実務【補訂版】花水征一・三浦哲男・土屋弘三 著